
健康社会研究センター ニューズレター 第42号

2016. 6. 28 発行

◆ 目次 ◆

- 1 最新のお知らせ
- 2 主な研究成果発表
- 3 シンポジウム・講演・メディア等
- 4 自治体共同研究会等
- 5 その他
- 6 シンポジウム・研究会開催のお知らせ

健康社会研究センターはJAGES(日本老年学的評価研究)の事務局の1つとして、下記のような活動に取り組んできました。

1.最新のお知らせ

JAGES 研究会が開催されました

- 2016年5月7日 日本福祉大学名古屋キャンパスで5月の定例研究会を開催、約39名が参加しました
- 2016年6月4日 日本福祉大学名古屋キャンパスで6月の定例研究会を開催、約41名が参加しました

WHO のレポートで JAGES が紹介されました

WHO の「都市部の健康に関するグローバル・レポート: 持続可能な開発のために、公平でより健康な都市を: Global report on urban health: equitable, healthier cities for sustainable development」で、JAGES プロジェクトおよび研究成果が紹介されました(p42-43)。http://www.who.int/kobe_centre/publications/urban-global-report/ja/

引用された論文:

- Ito K, Aida J, Yamamoto T, Ohtsuka R, Nakade M, Suzuki K et al. Individual- and community-level social gradients of edentulousness. BMC Oral Health. 2015;15:34. doi:10.1186/s12903-015-0020-z.
- Kanamori S, Kai Y, Aida J, Kondo K, Kawachi I, Hirai H et al. Social participation and the prevention of functional disability in older Japanese: the JAGES cohort study. PLoS One. 2014;9:e99638. doi:10.1371/journal.pone.0099638.

プレスリリース発行とプレス発表が行われました

各プレスリリースは、JAGESのホームページ、プレスリリース: <http://www.jages.net/#/cl20> をご覧ください

- 1) No.051-14-05
仮設住宅 抽選で入居すると重度の精神障害が2.5倍増 (小山史穂子, 相田潤)
- 2) No.068-15-13
東日本大震災 地域の結びつきが外傷後ストレス障害(PTSD)発症を抑制 (引地博之)
- 3) No.069-16-14
笑わない人は脳卒中リスク 1.6 倍増 (近藤尚己)
- 4) No.070-16-15
「高齢者に優しいまち」はどこ? (狩野恵美, 吉津麻美子)
- 5) No.071-16-01
歯が19本以下で、痩せのリスク1.5倍 (中村美詠子, 尾島俊之, 近藤克則, 中出美代, 大塚理加, 山本龍生, 鈴木佳代)
- 6) No.072-16-02
ポジティブ感情で認知症リスク半減(村田千代栄)

7) No.073-16-03
身近な相談相手で介護負担感 1 割低い(エンバーゴ有)(近藤尚己)

8) No.074-16-04
認知症リスクを点数化(加藤清人)

9) No.062-15-07
「健康交流の家」開設後に健康な行動が 2~6 割増 (細川陸也)

10) No.075-16-05
震災 3 年後のうつ症状に影響する 3 つの出来事は? (坪谷透)

11) No.076-16-06
12 月生まれの高齢男性 死亡率 14%高い理由は? (井上陽介)

12) No: 077-16-07
世話する人 話を聴く人 抑うつ度が低い (坪井宏仁)

13) No: 078-16-08
入れ歯しない高齢者 閉じこもりリスク約 2 倍 (相田潤)

14) No: 079-16-09
地域で役割ある高齢者は長生き (死亡率 12%減) (近藤尚己)

2016 年 4 月 15 日(日本福祉大学), 4 月 19 日(東京大学)に記者に向けたプレス発表会が行われ、5 つのプレスリリース (上記 No.5~No.9)が紹介されました

2016 年 6 月 24 日(愛知県庁記者クラブ発表質), 6 月 28 日(東京大学)に記者に向けたプレス発表会が行われ、5 つのプレスリリース (上記 No.10~No.14)が紹介されました

2. 主な研究成果発表

<論文等>

- 1) Yukako Tani, Takeo Fujiwara, Naoki Kondo, Hisashi Noma, Yuri Sasaki, Katsunori Kondo. Childhood socioeconomic status and onset of depression among Japanese older adults: The JAGES prospective cohort study. *Am J Geriatr Psychiatry* (in press)
- 2) Yukako Tani, Naoki Kondo, Yuiko Nagamine-Takahashi, Tomohiro Shinozaki, Katsunori Kondo, Ichiro Kawachi, Takeo Fujiwara: Childhood socioeconomic disadvantage is associated with lower mortality in older Japanese men: the JAGES cohort study. *Int J Epidemiol* 2016
- 3) Tsuboi H, Hirai H, Kondo K: Giving social support to outside family may be a desirable buffer against depressive symptoms in community-dwelling older adults: Japan gerontological evaluation study. *Biopsychosoc Med*. 2016 May 24;10:18. doi: 10.1186/s13030-016-0064-6. eCollection 2016
- 4) Aki Yazawa, Yosuke Inoue, Takeo Fujiwara, Andrew Stickley, Kokoro Shirai, Airi Amemiya, Naoki Kondo, Chiho Watanabe, Katsunori Kondo: Association between social participation and hypertension among older people in Japan: The JAGES Study. *Hypertension Research* (in press)
- 5) Koyama S, Aida J, Kondo K, Yamamoto T, Saito M, Ohtsuka R, Nakade M, Osaka K: Does poor dental health predict becoming homebound among older Japanese? *BMC Oral Health*. 2016 Apr 30;16(1):51. doi: 10.1186/s12903-016-0209-9.
- 6) Tsuboya T, Aida J, Hikichi H, Subramanian SV, Kondo K, Osaka K, Kawachi I: Predictors of depressive symptoms following the Great East Japan earthquake: A prospective study. *Soc Sci Med*. 2016 May 20;161:47-54. doi: 10.1016/j.socscimed.2016.05.026. [Epub ahead of print]
- 7) Ashida T, Kondo N, Kondo K: Social participation and the onset of functional disability by socioeconomic status and activity type: the JAGES cohort study. *Prev Med*. 2016 May 25. pii: S0091-7435(16)30083-4. doi: 10.1016/j.yjpm.2016.05.006. [Epub ahead of print]
- 8) Yoshiki Ishikawa, Naoki Kondo, Katsunori Kondo, Toshiya Saito, Hana Hayashi, Ichiro Kawachi and for the JAGES group: Social participation and mortality: does social position in civic groups matter?. *BMC Public Health*. 2016 May 12;16(1):394. doi: 10.1186/s12889-016-3082-1.

- 9) Yosuke Inoue, Andrew Stickley, Aki Yazawa, Takeo Fujiwara, Katsunori Kondo & Naoki Kondo: Month of birth is associated with mortality among older people in Japan: Findings from the JAGES cohort. *Chronobiol Int.* 2016;33(4):441-7. doi: 10.3109/07420528.2016.1152977. Epub 2016 Mar 24.
- 10) Hiroyuki Hikichi, Jun Aida, Toru Tsuboya, Katsunori Kondo, Kawachi I: Can Community Social Cohesion Prevent Posttraumatic Stress Disorder in the Aftermath of a Disaster? A Natural Experiment From the 2011 Tohoku Earthquake and Tsunami. *Am J Epidemiol.* 2016 May 15;183(10):902-10. doi: 10.1093/aje/kwv335. Epub 2016 Mar 29.
- 11) Koyama S, Aida J, Saito M, Kondo N, Sato Y, Matsuyama Y, Tani Y, Sasaki Y, Kondo K, Ojima T, Yamamoto T, Tsuboya T, Osaka K: Community social capital and tooth loss in Japanese older people: a longitudinal cohort study. *BMJ Open.* 2016 Apr 5;6(4):e010768. doi: 10.1136/bmjopen-2015-010768.
- 12) 近藤克則:【集中講座 研究入門】第3回 研究の種類と選択. *総合リハビリテーション* 44 (3): 249-251, 2016
- 13) 近藤克則:【集中講座 研究入門】第4回 研究構想・デザイン・計画. *総合リハビリテーション* 44 (4): 337-339, 2016
- 14) 近藤克則:【集中講座 研究入門】第5回 論文の種類と原著論文の校正. *総合リハビリテーション* 44 (5): 432-435, 2016
- 15) 宮國康弘, 近藤克則:【特集:健康格差を問う】健康格差の現状と対策のヒント 労働と関わる健康格差. *労働の科学* 71 (4): 4-7, 2016
- 16) 近藤克則:高齢者の社会参加の機会をつくるのが健康なまちづくりにつながる. *クリニックばんぶう* 420: 24-5, 2016
- 17) 竹田徳則, 近藤克則, 平井寛, 尾島俊之, 村田千代栄, 鈴木佳代, 斉藤雅茂, 三澤仁平:認知症を伴う要介護認定発生のリスクスコアの開発:AGESプロジェクト 5年間のコホート研究. *日本認知症予防学会誌* 4(1),25-35 頁 2016(査読有)
- 18) 村田千代栄:【寄稿】認知症になっても大丈夫な地域づくり ソーシャル・キャピタルと地域づくり -「見える化」から課題解決へ-. *三重県国民健康保険団体連合会誌* 370:16-19, 2015
- 19) 中村廣隆, 小嶋雅代, 村田千代栄:住民主体介護予防に向けた取り組み;地域課題の共有するワークショップを通じて. *東海公衆衛生雑誌*4(1):2016(印刷中)
- 20) 亀田義人, 近藤克則:【特論】脳卒中の社会経済的リスク要因. *日本臨床* 74 (4): 690-696, 2016
- 21) 近藤克則:【特集】健康格差 その縮小に向けて ~社会環境の整備、地域づくり~. *へるすあっぷ* 21 (378): 10-11, 2016
- 22) 徳永誠, 近藤克則:日本リハビリテーション・データベースからの成果と展開. *リハビリテーション医学* 53 (3): 223-227, 2016
- 23) 細川陸也, 伊藤美智予, 近藤克則, 尾島俊之, 宮國康弘, 後藤文枝, 阿部吉晋, 越千明:「健康交流の家」開設による健康増進効果の検証 *社会医学研究.* 33(1):59-70, 2016
- 24) 林尊弘, 近藤克則:特集 地域包括ケア時代のリハビリテーション 地域づくりによる介護予防のエビデンス. *総合リハビリテーション* 44(4):281-286, 2016
- 25) 徳永誠, 近藤克則:大腿骨頸部骨折(近位部骨折)の訓練単位数と担任時運動FIMとの関係ー日本リハビリテーション・データベースの分析ー. *Jpn J Rehabil Med* 52:751-759, 2015 第53回リハビリテーション医学会学術集会 最優秀学会賞受賞
- 26) 中出美代, 尾島俊之:高齢者における肥満度と総死亡リスクとの関連の所得による違い. *臨床栄養.* 129(3):276-277, 2015

<学会発表>

第51回日本理学療法学会大会, 札幌, 2016.5.27-29

- 1) 白石成明, 松本大輔, 杉山統哉, 伊藤卓也, 石野聡, 近藤克則. 回復期リハビリテーション病棟に入院するまでの期間とADL 予後との関連. 第51回 日本理学療法学会大会, 札幌, 2016.5.27-29
- 2) 石野聡, 伊藤文香, 清水絵梨香, 中西愛, 平野裕三, 白石成明. 大腿骨近位部骨折受傷患者の受傷前歩行能力再獲得を阻害する身体機能の検討. 第51回 日本理学療法学会大会, 札幌, 2016.5.27-29

第58回日本老年医学会学術集会, 金沢, 2016.6.8-10

- 3) 林尊弘、近藤克則、山田実、松本大輔. 高齢者のスポーツの趣味と転倒発生との関連: JAGES コホートデータ. 第 58 回日本老年医学会学術集会, 金沢, 2016.6.8-10

3. シンポジウム・講演・メディア等

<シンポジウム>

- 1) 近藤克則: 地域包括ケア時代の介護予防. シンポジウム 8「地域で育てる健康長寿を目指した介護予防の展開」第 58 回日本老年医学会学術集会, 金沢, 2016.6.8-10

<メディア掲載・放送>

- 1) 認知症はいかに発見までを調査. NHK ニュース東海版, 2016.6.11(鄭丞媛)
<http://www3.nhk.or.jp/tokai-news/20160611/5853212.html>
- 2) 認知症チェックリストの解説, 日ごろの生活で気をつけられることについての解説を紹介されました. NHK ラジオ名古屋放送, 2016.6.7(竹田徳則)
- 3) 「孤食」は「うつ」を引き起こす! 「共食のすすめ」. ゴールデンライフ 6 月号【特集】に研究成果が掲載されました(谷友香子) <http://www.goldenlife.jp/vol69/>
- 4) 「笑わない人では健康感が悪い人が 1.5 倍以上多い」と「笑わない人は脳卒中リスク 1.6 倍増」が紹介されました. テレビ朝日: 羽鳥慎一モーニングショー「長寿県と短命県の違いは何か? 最新長寿研究から見えること」, 2016.5.18 (近藤尚己)
- 5) 施設利用者は健康◎に 東海市「交流の家」調査で判明. 中日新聞愛知県版, 2016.5.7
- 6) 「家庭菜園など、園芸的な活動が認知症予防につながる」という研究内容が紹介されました. NHK E テレ 団塊スタイル「健康でお得! 家庭菜園」, 2016.5.6(竹田徳則)
- 7) 認知症発症リスクの点数化ツールを開発した研究について. NHK 東海 NEWS WEB 2016.4.26(竹田徳則)
「認知症チェックリストを作成」が紹介されました
- 8) 外出しやすい町づくりで介護予防. Medical Tribune 49 (16)で紹介, 2016.4.25(近藤克則)
- 9) 65 歳以上高齢者、残っている歯が 19 本以下で「やせ形」リスク増. 中日新聞愛知県版 2016.4.16, FNN 放送で論文内容が紹介されました. 2016.4.15(中村美詠子)
- 10) 前向きな感情で認知症リスク減. NHK 東海 NEWS WEB, NHK 千葉 NEWS WEB, 2016.4.15(村田千代栄)
- 11) 生活満足度が高いと認知症のリスク小さい. 読売新聞 2016.4.16, TBSニュース 2016.4.20(国立長寿医療研究センターの研究成果)が紹介されました
- 12) 「大池健康交流の家の調査結果」自治会長様への取材内容など掲載. 週刊朝日 4 月 15 日増大号 2016.4.15
- 13) 笑わないと脳卒中のリスクが増える?(笑いと脳卒中の関係) 普段、笑うことがほとんどない人は、ほぼ毎日笑う人に比べて脳卒中のリスクが 1.6 倍増えると多くのマスコミで紹介されました。(<http://www.jages.net/#!/blog/crdq>)
- 14) 辻大士, 近藤克則: 【寄稿】高齢者が会・グループに参加して実践している運動・スポーツ種目とは? ~“通いの場”創出の参考に~. 週刊 保健衛生ニュース 1848: 48-53, 2016
- 15) 近藤克則: インタビュー なぜ大事? SDH(健康の社会的決定要因)の視点. 民医連新聞 1618, 2016

4. 自治体共同研究会等

- ・名古屋市共同研究会 2016 年 4 月 27 日, 6 月 17 日
- ・東海市共同研究会 2016 年 4 月 15 日
- ・リハ DB 研究会 2016 年 6 月 24 日

5. その他

名古屋事務局会議を以下の日程で開催いたしました

2016年 4月 15日
5月 6日
5月 20日
6月 17日
6月 24日

6. シンポジウム・研究会開催のお知らせ ※変更になることがあります

<催事案内>

第2回貧困と子どもの健康シンポジウム「小児科学にとっての貧困問題」

2016年12月4日(日) 10～16時 東大鉄門記念講堂

- ・近藤克則(千葉大学予防医学センター):「貧困はどうか健康に影響するか」
- ・五十嵐隆(国立成育医療研究センター):「小児科学が貧困に取り組む意味」
- ・和田浩(健和会病院小児科):「現場でどう気づきどう援助するか」

(<http://www.futoko.info/zzevents/2016/12/第2回貧困と子どもの健康シンポジウム/>)

<自治体関連>

常滑市共同研究会

【日次】2016年6月29日(水) 14時～

【場所】常滑市役所

東海市共同研究会

【日時】2016年7月1日(金) 9時30分～11時30分

【場所】日本福祉大学東海キャンパス

武豊町共同研究会

【日時】2016年8月19日(金) 13時30分～16時00分

【場所】場所未定

名古屋市共同研究会

【日次】2016年9月9日(金) 13時30分～

【場所】日本福祉大学名古屋キャンパス

リハDB研究会

【日時】2016年8月5日(金) 18時30分～

【場所】日本福祉大学名古屋キャンパス

<JAGES 関連>

2016年7月のJAGES研究会

【日時】2016年7月10日(日) 10時30分～17時00分(予定)

【場所】東京大学本郷キャンパス

ニューズレター第42号の発行にご協力いただきましてありがとうございました。

今後とも当センターへのご支援をよろしくお願い申し上げます。

メーリングリストの配信の停止をご希望の方・ご意見・お問い合わせ・情報提供はこちら<p-tanaka@n-fukushi.ac.jp (田中)>までお知らせください(ご連絡の際は*を@に変更して下さい)。

ニューズレターのバックナンバーはこちら<[バックナンバー](#)>

発行元: 健康社会研究センター <http://cws.umin.jp/>

このメールは、国際シンポジウム「健康の社会的決定要因—社会疫学の可能性」(2009年3月14日開催)及び、「『健康の社会的決定要因』を巡る国際的動向」(2011年12月23日開催)、国際ワークショップ「社会疫学と老年学における国際共同研究の可能性」(2012年1月8日開催)にてメール登録をご希望いただいた方及びメーリングリストweb登録をいただいた方に配信しています。